

はじめに

本校は学校教育目標を「一人一人が意識して学びの道にいそしむ西郷っ子」の育成とし教育活動に邁進しています。また「西郷小学校3つの誓い(しっかり勉強します・友達と仲よくします・明るくあいさつをします)」を基に子ども達も頑張っています。

令和2年度より佐賀県教育委員会から「ESD」の委嘱を受け研究を始めることになり、生活科と総合的な学習の時間を中心に全職員で研究に取り組むこととなりました。研究主任を中心に、教育課程全体を俯瞰し学びの充実を図るためにカリキュラムマネジメントに取り組みました。また研究推進委員会や校内研究の時間には職員が取り組んだ実践について評価し、次の実践へ生かすというPDCAサイクルを確実にたどりながら研究を深めていくことができました。

研究テーマは「未来の自分や地域を見すえ、よりよい社会を目指して学び続ける子どもの育成 ～3Cを育む探究的な活動の工夫～」とし、持続可能な社会の創り手の育成をねらって設定したところです。学習指導要領前文で示された「あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」という、教育の目指す方向を色濃く反映したものです。その際3C “Communication” “Care” “Continuity”を子ども達に身に付けさせたい力として、何ができるようになるか、目指す姿は何なのか等を具体的にもちながら指導を続けてきました。

令和3年11月17日には授業公開を行い、多数の方々に参観していただきたくさんのご助言をいただきました。職員一同お礼を申し上げます。

以上のような経緯を踏まえ、この一冊はいろいろな方からのご支援を基に西郷小学校の職員の熱意・知恵・経験などが詰まったものとなったことを自負しているところです。今後「ESD」に取り組みまれていく学校の方々の一助となれば幸いです。今後もこの研究に携わった経験と知識を生かしながら他教科にも派生させ、西郷小学校の子ども達がよりたくましく健やかに育っていくことを願って教育活動に邁進していく所存です。

結びになりますが、本校の校内研究の実践にあたり、温かく、丁寧に御指導・御助言を賜りました、東部教育事務所指導主事 梶原 康裕 先生、長崎国際大学人間社会学部国際観光学科 講師 浦郷 淳 先生に心から感謝申し上げます。

令和4年2月1日
校長 遠藤 浩幸